

第 1 学年 道徳学習指導案

1 主題名 公徳心及び社会連帯の自覚を高め、より良い社会の実現に努める。

2 内容項目 4－（2）公徳心

3 資料名 「島耕作 ある朝の出来事」

4 ねらい（視点）

□ねらいとする価値観

私たちは自宅から一歩外に出ると、さまざまな人とさまざまな空間を共有し合うことで生活している。それが社会であり、多くの人々と共に生活する以上、私益を優先する言動は慎まなければならない。自制と他への配慮を忘れてはならない。しかしながら、昨今では「自分さえよければいい」という自己中心的な言動が見られる場面が徐々に増え、社会全体のモラル意識が低下しているようにも見受けられる。また、「他者への配慮」という名目のもとに、「見て見ぬふり」をする周囲の言動も、人間関係の希薄化に拍車をかけているように感じる。これらは、本校の 1 学年生徒にも見られることである。

公徳心は、社会生活の中で守るべき正しい道としての公徳を大切にすることである。この公徳を大切にすることが、一人一人の日常生活の中で具体的に生かされることで、住みよい社会が実現できる。また、社会生活においては、一人一人が共に手を携え、協力しだれもが安心して生活できる社会をつくっていくとする社会連帯の自覚は欠かすことができない。この社会のすべての人々が、自分も他人も、よりよく生きようとしていることを自覚することから、互いに助け合い励まし合うという社会連帯の自覚も出てくる。

社会生活で多くの人と生活を共にしていく以上、自分本位の考え方を優先させた言動は慎むべきである。そのためには、周囲への思いやりや配慮を持って実状を判断し、時と場にふさわしい言動をとることができる社会性や、望ましい社会を実現していくという意欲を生徒に育てていくことが重要であると考えている。

□資料とその活用について

漫画「課長 島耕作」の主人公である島が、混雑した電車の中で苦しみお年寄りを前に、平然と座席に座り新聞を広げているサラリーマンに腹を立て、口論となるシーンを取り上げ、ねらいに迫る資料である。

島とサラリーマンのやり取りを中心に、お年寄りや電車に同乗した他の人々の心境にも目を向けさせたい。さらに新聞投稿された資料でも深めながら、相手の気持ちに配慮していくという公徳心について深く考えさせていきたい。そのために、本時ではロールプレイにより、登場人物それぞれの立場の心情を読み取らせることが有効であると考えた。

また、級友の見方・感じ方から学び合いを深めるために、中心発問では、多様な考えを交流し、価値観の相違を比較・理解し合うことで、自己の生き方について自覚させていきたい。

□資料とその活用について

主人公と周りの乗客の取った行動の善し悪しを、ロールプレイングを通して考え、議論することを通して、集団の一員としての自覚を深め、集団一人一人のことを考えながら、みんなが気持ちよく過ごすことのできる社会を実現しようとする実践意欲を高める。

5 本時の展開

時	主な学習内容・活動	評価・留意点
00	<p>○今までの生活を振りかえさせるために、以下の内容の発問を生徒にする。</p> <p>あなたは電車に乗って座席に座っています。お年寄りが乗車してきて、自分の前に立ちました。あなたならどうしますか。</p> <p>* 譲ろうと思うけど、言い出すことができない * 譲る勇気がない * 寝たふりをする * 勇気を出して席を譲る</p>	<p>■自由に意見を発表させる</p> <p>■ねらいとする価値に方向付けるため、周囲のことを考えて行動する場面を想起させる。</p>
05	○資料を範読する	■教師資料範読
10	<p>○島耕作の行動についてどう思うか</p> <p>* 勇気のある行動だと思う * 気持ちはわかるが、そこまでの行動は自分にはできない * 言い返されたらそれ以上の反論はできない * おばあさんのためを思っただけの勇気ある行動が偉いと思った * 周囲のことを考えると少しムキになりすぎてはいないか</p>	<p>■お互いの行動や言動については率直な意見を出させ、教師はそれらを板書する。</p>
15	<p>○サラリーマンの言動や言い分についてどう思うか</p> <p>* 自分の都合だけしか言わず身勝手だ * おばあさんに席を譲るべきだ * この人も疲れているのだから譲る必要はないのでは</p>	■島耕作肯定派が多数であると予想されるが、この状況は誰もが過ごしやすいものではないことに気づかせたい
20	<p>[中心発問]</p> <p>みんなが気持ちよく過ごすためには何を大切にしなければならないのだろうか。</p>	■ワークシート配布
25	<p>・自分の考えを記入する</p> <p>○ロールプレイング資料を配付し、以下の内容の説明をする。</p> <p>[ルール説明]</p> <p>①4人グループでロールプレイを行う ②4人グループでそれぞれが、登場人物A～Dを体験する。 A:島耕作 B:サラリーマン C:おばあさん D:一般の乗客 ③2分(ロールプレイ)+1分(感想記入)×4</p>	<p>■自分の考えを書けない生徒がいてもよい</p> <p>■ロールプレイの説明は簡潔にわかりやすく。</p>
37	○それぞれの役を演じてどのようなことを感じたか交流をする	■1対1の思いやりではなく、『第三者を意識した集団としての思いやりや配慮』が公德心を考えていくことにつながるという視点に気づかせたい。
40	<p>○中心発問に戻り、もう一度自分の考えを記入するよう指示し、数名に発表してもらおう。</p> <p>* お互いへの気遣い * お互いに助け合うことが大切 * 他人への思いやり * お互いに協力し合うことが大切 * 積極的に社会とかかわっていくことが大切</p>	■公德心について理解させ、根底にある思いやりの心や相手への気遣いを考えさせる。
45	○副読本の新聞の投書を範読する	
50	○今日の授業の感想を記入するよう指示し、数名に発表してもらおう	
<p>【評価】 集団の一員としての自覚を深め、集団一人一人のことを考えながら、みんなが気持ちよく過ごすことのできる社会を実現しようとする実践意欲を高めることができたか、話し合いの様子やワークシートの記述内容から見取る。</p>		

課長 島耕作 ある朝の出来事

- おばあさん はあはあはあ
島耕作 大丈夫ですか？荷物をお持ちしましょうか。
- おばあさん あ。いえいえ、大丈夫です。すみません。
- 島耕作 ちょっと。
すみませんが、こちらのおばあさんが少し疲れていらっしゃるようで、出来ましたら席を譲ってあげていただけませんか。
- サラリーマン 冗談じゃない。疲れているのはこの老婦人だけじゃない。私だって疲れているんだ。あんたらが何時間寝たか知らないけど、私は昨日からずっと仕事で2時間しか寝ていないんだ。人の事情も知らんで勝手なことを言わんでくれ。
- 島耕作 あなたが2時間しか寝ていないなんて知ったことじゃないですよ。この満員電車の中でのうのうと新聞を広げて読んでいるくらいの元気があるのなら席をかわってあげてもいいんじゃないかと思っただけですよ。
- サラリーマン 君！私はね、この電車の席を取るために始発駅のホームで20分も立って並んだんですよ。私には座る権利があるんだ。そうやってやっと手に入れた席をたった今乗ってきたこの人に何で譲らなきゃならないんだ。
- まわりの乗客 なんだなんだ？
- 島耕作 権利とかそういう問題じゃないでしょう！要するにあなたの気持ちのことを言っているんですよ。
- おばあさん お兄さん、もういいですよ。私、立っているのは平気ですから。
- 島耕作 いや。よかあないですよ。
- サラリーマン それにだね。君！私にそんなことを言う権利が君にあるのか！
当の本人が一言も言ってないじゃないか。それを他人のあんたが何故ぐちゃぐちゃ私に言うんだ？
-